

## 初のジオ講座「親子でジオパークを学ぼう」 ～70人参加、将来はジオガイド？研究者？～

伊豆半島ジオパーク推進協議会の協力のもと、伊豆の国市（教育委員会生涯学習課、観光課）は7月30日（火）、伊豆の国市あやめ会館で「親子でジオパークを学ぼう」を開催しました。この夏休みイベントには親子あわせて70人が参加、実験などを通じてジオパークを楽しく学びました。伊豆の国市がジオパーク講座を開催するのは初めて。

このイベントには伊豆半島ジオパーク推進協議会が協力しました。子どもたちは、推進協の鈴木雄介研究員の話聞いた後、コーラとメントスを使ったマグマ噴出実験を行いました。また、伊豆半島内の岩石の観察や岩石を粉状にした岩絵の具を使った塗り絵にチャレンジ。地中に溶け込んだ鉱物が結晶となる「湯の華」も観察しました。

子どもたちは実験や体験に目を輝かせ、時には歓声が上がりました。最後に農産物も大地の恵みとしてジオ関係することを学び、市の特産である「田中山すいか」をみんなで食べました。親子で夏の良い思い出となったようです。参加した子どもの中から、未来の研究者やジオガイドが誕生するかもしれません。

（伊豆の国市観光課 小川彰弘）



岩絵の具で塗り絵をする様子

## 防災の重要性を学ぶ ～伊豆っ子防災学習会～

伊豆市、沼津河川国道事務所は8月7日（水）、伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」などを会場に「伊豆っ子防災学習会」を開催しました。学習会には伊豆市内の小学校3～6年生12人が参加。川の働きを知ったうえで、実際に砂防堰堤を見て河川防災の重要性を確認していました。

「ジオリア」では水理模型を使って大雨が降ったときに川の流れがどのように変わるか、土石流がなぜ発生するかのメカニズムを学びました。

さらに修善寺総合会館ホールで土石流の仕組みの講義を受け、実際に砂防堰堤などの防災施設を見学しました。



水理模型による川の流れ（ジオリア）

## 田方地区理科教職員が「ジオ研修」 ～伊豆の素晴らしさを体験～

子どもたちは夏休みに入り、先生たちも一休み… とはいかず、夏休みを利用して田方地区理科教職員ジオパーク研修が8月6日（火）に行われました。炎天下の中、ジオリアのほか、白鳥山など7箇所ジオサイトをめぐり勉強しました。

「長いこと教員をしているが、伊豆半島がこんなにも素晴らしいところだったとは知らなかった。」と参加者から感想をいただきました。

研修では、鈴木研究員が講師となり、柱状節理などを解説しました。推進協議会では児童・生徒のみならず、教職員向けの研修も行っています。ほかの地区の教職員の皆様も、ぜひ研修等を検討していただき、その成果を踏まえて多くの学校でジオ学習が取り入れられることを期待しています。内容については推進協議会までお気軽にご相談ください。



研修の様子（白鳥山：柱状節理）

## ジオリアイベント「2,000万年前流しそうめん」 ～竹細工で箸づくりにも挑戦～

8月11日（日）にジオリアで夏休みイベント、「2,000万年前流しそうめん」を開催しました。2回目となる今年は、小刀を使って器と箸をつくる竹細工をプログラムに導入。猛暑の中、汗水たらして自分で作った箸や器で食べるそうめんは格別だったと思います。



流しそうめんの様子



ワークショップの様子

この流しそうめんでは、そうめんを流す竹製の長い長さを時間に見立てて、地球上の出来事がいつ発生したかをクイズ形式で出題しました。ヒントは「ジオリア」の中にあります。自力で挑戦するご家族もいて、楽しく勉強しながらそうめんを楽しみました。

竹細工では伊豆の杜人舎様のご協力をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

### 《編集後記》

夏休み期間ということで、今回は学校の出前授業などの紹介ではなく市町主催の学習会や、教職員向けの研修、推進協議会が開くイベントを紹介しました。ジオパークは出前授業だけでなく、学べる機会がたくさんあります。これらイベントを通して、地元の素晴らしさに気づいたり、理科や地理、地学が好きになったり、ジオパークに興味を持ったり、きっかけは日ごろ何気ないところに転がっているものです。推進協議会が開催するイベントもまだまだあります。気軽にイベントに参加してください。

（事務局 早川）